

# 乾乳期用セ프라ビン®「W」

## Cepravin® dry cow

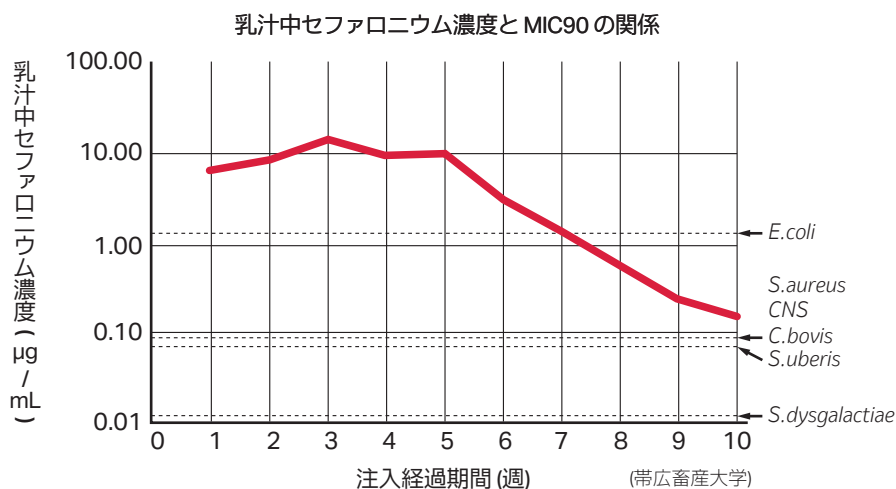


### 本剤の特徴

- 1 グラム陽性菌のみならずグラム陰性の乳房炎起因菌にも強い抗菌活性を示し、その作用は殺菌的である。
- 2 ペニシリンナーゼに対して安定で、ペニシリン耐性菌にも有効である。
- 3 1回の投与で全乾乳期間にわたって有効乳房内濃度を維持する。
- 4 乳房に注入後、速やかに乳腺組織内に拡散し、乳房深部まで浸透する。
- 5 注入に便利なシリンジ型容器である。

### 乾乳牛における乳汁中セファロニウム濃度 (承認申請資料より抜粋)

本剤(1容器)を各乳房内に注入したホルスタイン種妊娠乾乳牛の乳汁を注入後毎週1回採取して、乳汁内のセファロニウム濃度を測定した結果を下図に示しました。



菌種	株数	MIC <sub>90</sub> (µg/mL)
<i>S.aureus</i>	370	0.09
CNS	1235	0.09
<i>S.uberis</i>	63	0.07
<i>S.dysgalactiae</i>	10	0.012
<i>C.bovis</i>	237	0.09
<i>E.coli</i>	24	1.54

本剤(1容器)を注入した乳房の乳汁内のセファロニウム濃度は、注入後10週目まで0.16 µg/mL以上で推移し、乳房炎の一時起因菌である*S.aureus*、*S.dysgalactiae*、*E.coli*などの乳汁由来菌に対するセファロニウムのMIC<sub>90</sub>値を超える濃度が55~60日間維持されました。

製品名	乾乳期用セプラビン®「W」	製造販売元 (輸入)	MSDアニマルヘルス株式会社				
本質の説明 又は製造方法	本剤は動物専用のセファロニウムを有効成分とする乾乳期の乳房炎用注入剤である。 セファロニウムは7-アミノセファロスポラン酸を母核とする半合成セフェム系抗生物質である。						
成分及び分量	<table border="1"> <tr> <td>有効成分</td> <td>セファロニウム</td> </tr> <tr> <td>含 量</td> <td>1容器 (3g) 中に250mg (力価)</td> </tr> </table>			有効成分	セファロニウム	含 量	1容器 (3g) 中に250mg (力価)
有効成分	セファロニウム						
含 量	1容器 (3g) 中に250mg (力価)						
効能又は効果	有効菌種：ブドウ球菌、レンサ球菌、コリネバクテリウム、大腸菌、クレブシエラ 適応症：牛：乾乳期乳房炎						
用法及び用量	乾乳期初期に1乳房当たりセファロニウムとして250 mg (力価) を注入する。						
使用上の注意	<p><b>【基本的事項】</b></p> <p><b>1. 守らなければならないこと</b> (一般的注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。</li> <li>本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。</li> <li>本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。</li> <li>本剤は1症例につき1回のみ使用に限ること。</li> <li>本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。</li> </ul> <p>注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物[牛 (泌乳しているものを除く。)]について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。 牛 (泌乳しているものを除く。)：食用に供するためにと殺する前30日間</p> <p>(牛に関する注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本剤を注入する時は乳頭を十分に消毒すること。</li> </ul> <p>(取扱い及び廃棄のための注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小児の手の届かないところに保管すること。</li> <li>本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。</li> <li>使用期限が過ぎたものは使用しないこと。</li> <li>注入ノズルは清潔に取扱うこと。</li> <li>使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。</li> <li>本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。</li> </ul> <p><b>2. 使用に際して気を付けること</b> (使用者に対する注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取扱いに際しては、眼や皮膚に付着しないように注意すること。眼や皮膚に付着した場合には、直ちに水で洗い流すこと。</li> </ul> <p>(牛に関する注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。</li> </ul> <p>(専門的事項)</p> <p>①対象動物の使用制限等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本剤は搾乳牛 (食用に供するために出荷する乳を泌乳している牛をいう) には使用しないこと。</li> <li>本剤は分娩予定40日前からは使用しないこと。</li> </ul>						
薬理学的情報等	(薬効薬理) 有効成分であるセファロニウムは、乳房炎の主要な起因菌であるブドウ球菌、レンサ球菌、コリネバクテリウムなどのグラム陽性菌並びに大腸菌、クレブシエラなどのグラム陰性菌に及ぶ広い抗菌スペクトルを有し、その作用は殺菌的である。						
貯 法	室温保存						
包 装	3g 容器×20						

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、下記製品情報お問い合わせ先]に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

【製造販売元 (輸入)・製品情報お問い合わせ先】

MSDアニマルヘルス株式会社

東京都千代田区九段北 1-13-12 〒102-8667

TEL : 03-6272-1061 FAX : 03-6238-9080